

ソーシャルワーク機能向上研修の実施について

1 「ソーシャルワーク機能向上研修（相互研修）」

(1) 目的

区民から相談を受けた職員が、相談者の世帯全体の課題を的確に把握し適切なサービスの提供につなげることができるように、各相談支援機関や区の関係部署において行っている業務について、相互理解を図るための研修を実施する。

(2) 実施内容

ア 講師	中央区社会福祉協議会管理部地域ささえあい課 片桐 義晴 氏
イ テーマ	「地域福祉コーディネーターの役割とその活動事例について」
ウ 日時	令和4年8月4日（木） 午後2時（1時間30分）
エ 場所	区役所8階大会議室
オ 参加者	15名 福祉保健部職員（子育て支援課、保育課、障害者福祉課、子ども家庭支援センター、子ども発達支援センター、高齢者福祉課、健康推進課）、基幹相談支援センター職員、社会福祉協議会職員、おとしより相談センター職員

2 「ソーシャルワーク機能向上研修（専門研修）」（予定）

(1) 目的

相談・支援にあたる職員が、講義・グループワークを通じてソーシャルワークの視点や考え方を理解し、そのプロセスや手法を学ぶ機会として、具体的・実践的な内容を中心とした研修を実施する。

(2) 実施内容

ア 講師	駒澤大学文学部教授 川上 富雄 氏
イ テーマ	「伴走支援に向けた多機関連携の在り方について ～つながり続けるソーシャルワーク～（仮）」
ウ 日時	令和4年12月23日（金）午後2時（2時間）
エ 場所	区役所8階大会議室
オ 定員	30名 福祉分野で相談支援を行う職員・関係機関

ソーシャルワーク機能向上研修(専門研修)アンケート結果

※ 参加者 15名 回答者 15名

質問1 今回の研修に対する満足度はいかがですか。

- ・非常に満足 4人 (26.7%)
- ・満足 9人 (60%)
- ・普通 2人 (13.3%)
- ・やや不満 0人 (0%)
- ・不満 0人 (0%)

質問2 研修の内容に対し、時間は適切でしたか。

- ・長すぎる 0人 (0%)
- ・やや長い 1人 (6.7%)
- ・適切である 13人 (86.7%)
- ・やや短い 1人 (6.7%)
- ・短い 0人 (0%)

質問3 研修の内容は理解できましたか。

- ・良く理解できた 5人 (33.3%)
- ・理解できた 10人 (66.7%)
- ・どちらとも言えない 0人 (0%)
- ・あまり理解できなかった 0人 (0%)
- ・理解できなかった 0人 (0%)

質問4 今後業務を進めるなかで地域福祉コーディネーターと連携してみたいと感じましたか。

- ・連携してみたい 12人 (80%)
- ・連携を検討したい 3人 (20%)
- ・どちらとも言えない 0人 (0%)
- ・あまり連携は必要ない 0人 (0%)
- ・連携は必要ない 0人 (0%)

質問5 研修や講演会に参加しやすい時期や時間帯がございましたらお書きください。

- ・ちょうど良い時間帯です
- ・今ぐらいの時期が良いです
- ・14時～16時頃
- ・8月、11月、12月（年度末、年度始め、予算要求時期以外）
- ・月末以外
- ・火曜日～金曜日の午後
- ・午後の時間帯

質問6 今後受講したいテーマがございましたらお書きください。

- ・各課の役割について
- ・他機関で連携できるグループワークの実施
- ・ファミリーサポート、虹のサービス等 提供できるサービスについて
- ・実際の困難事例の対応シミュレーション
- ・成年後見・任意後見について
- ・グループワーク（事例）
- ・各関係機関の理解を深めたい。それぞれがどのような働きをしていて、どのような連携を求めているのか知りたい。

質問7 研修全体を通じてのご意見・ご感想がございましたらお書きください。

- ・ありがとうございました。
- ・講師の片桐様、運営の皆様、ありがとうございました！
- ・貴重な機会をいただきありがとうございました。今後ささえあい課さんには「どんな支援をしてもらえるのか」まずはご相談してみようと思いました。
- ・ケースワークを通して、子どもの居場所づくりが少ない印象がありました。のりしろをふやすためには、様々なサービスや制度を知っておく必要があると感じました。
- ・専門外の事例と感じたが、色々な意見が聞けて勉強になりました。
- ・地域福祉コーディネーターの役割（置かれる立場）についてよくわかった。
- ・他機関の方の視点、ご意見も伺えてとても勉強になりました。
- ・関係者の様々な視点についてとても参考になりました。
- ・いろいろな方のお話をお聞きできて、よかったです。気づかなかったことに気づくことができました。
- ・グループワークをもっと深めたかった。